

創造

JA いけだ

CREATION

今月号の表紙写真は、7月23日（水）に行われた女性部食品加工サークルの視察研修で訪れた、農家レストラン「ふわふわ畑」での集合写真です。詳細は7ページをご覧ください。



CONTENTS

- * 第45回十勝総合畜産共進会
- * 26年産豆類の需給見込みについて
- * 21NEWS アラカルト
- * 金融共済課より
- * 営農部通信
- * 畜産部通信
- * 各部署職員紹介
- * 未来人
- * 農家のお嫁さん
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2014.

9
SEPTEMBER

No.057

第45回

十勝総合畜産共進会

～最多出品頭数で
改良成果をPR!～

高橋直人さんの「りあな」(第18部1等賞1席)

第45回十勝総合畜産共進会、肉用牛の部・種馬の部が7月24・25日に音更町の家畜共進会場で開催されました。

両日ともに30℃を超える猛暑の中、厳正な審査が行われ、肉牛の部において高橋直人さん出品の「りあな」(第18部)が1等賞1席、武田大治さん出品の「かなみ」(第23部)が1等賞2席、「かりな」(第20部)が1等



川添保徳さんの「幸龍」(第29部1等賞2席)

賞4席を受賞しました。

馬の部では川添保徳さん出品の「幸龍」(第29部)が1等賞2席を受賞し、地域の改良成果を大いにPRしました。

今年は十勝を代表する肉牛89頭(雌牛群9組)、馬33頭が出品され、日頃の改良と飼養管理の成果が競われました。

当JA管内からは6月開催の町家畜品評会で好成绩を収めた肉牛19頭(雌牛群

出品者の方々は本共進会に向け、牧草収穫作業等の合間を縫って、調教や毛刈り等、徹底した管理を行ってききました。

日々の努力が報われた方、一歩及ばず悔しい思いをされた方もおりますが、磨いた技術は大きな自信となり、必ず今後の改良につながるものと思います。



最高位決定審査の様子

2組)、馬1頭の計20頭が出品されました。

肉牛については近年、出品頭数が増加しており、十勝管内最多の出品頭数となつたほか、新規出品者も4名おり、改良に対する意識の高まりが感じられ、黄色で統一した出品者のユニフォームは来場者の目を引きま

した。

最後に、関係者の皆様のご支援、ご協力にお礼申し上げます。

(記事・畜産部畜産課 米川 武)

9月6・7日に開催される第16回北海道総合畜産共進会には、道内各地より選抜された延べ147頭が北海道の頂点を目指し、競われます。当JA管内からは6頭が出品予定となっており、上位入賞が期待されます。



武田大治さんの「かりな」(第20部1等賞4席)



武田大治さんの「かなみ」(第23部1等賞2席)

第45回十勝総合畜産共進会出品結果

畜種	区分	部	審査結果	名号	父名号	地区	出品者
肉牛の部	未経産の部	17部	2等賞3席	ゆうひ	百合茂	利別	川添保徳
			2等賞4席	はいり	隆之国	東台	穂田豊治
		18部	1等賞1席	りあな	花国安福	利別	高橋直人
		19部	2等賞3席	みゆり	百合茂	信取	(有)大塚牧場
			3等賞	きよゆりひら	百合茂	東台	清水孝悦
			3等賞	ゆずき	安福久	千代田	北西国博
		20部	1等賞4席	かりな	安福久	千代田	武田大治
			3等賞	きよゆりたか	隆之国	東台	清水孝悦
			3等賞	かなみ	平茂勝	信取	高嶋紳一
		21部	2等賞4席	くれあ	安福久	信取	(有)大塚牧場
			3等賞	きよよしゆり	芳之国	東台	清水孝悦
			3等賞	のりあ	芳之国	東台	小畑富雄
	経産の部	22部	3等賞	ゆうり	安福久	千代田	武田大治
			3等賞	くるみ	北平安	東台	河口賢悟
		23部	1等賞2席	かなみ	勝忠平	千代田	武田大治
			2等賞3席	あやみ	美津福	利別	川添保徳
			3等賞	このみ	百合茂	東台	野上稔
			3等賞	さわか	百合茂	千代田	樋口圭洋
			3等賞	ゆずき	百合茂	清見	多田隆弥
	群出品の部	27部	3等賞	ゆうり	安福久	千代田	武田大治
			3等賞	かなみ	勝忠平	千代田	武田大治
		28部	2等賞1席	このみ	百合茂	東台	野上稔
			2等賞1席	さわか	百合茂	千代田	樋口圭洋
			2等賞1席	ゆずき	百合茂	清見	多田隆弥
種馬の部	1才雄の部	29部	1等賞2席	幸龍	ガササリウ	利別	川添保徳

26年産豆類の需給見込みについて

(1) 作付面積の推移（普通大豆を除く）

品種別の北海道・十勝作付面積（前年対比）（単位：ha）

品 目	H 2 6		H 2 5		H 2 6－H 2 5	
	北海道	十 勝	北海道	十 勝	北海道	十 勝
小 豆 類	26,400	16,500	26,200	15,800	200	700
大 手 亡	2,200	2,000	2,100	1,865	100	135
赤系金時	5,500	4,700	5,426	4,600	74	100
黒 大 豆	2,300	550	3,382	1,000	▲1,082	▲450
豆 類 合 計	36,400	23,750	37,108	23,265	▲708	485

小豆類の面積については、全道で前年比+200ha、十勝では+700haとなっており、更に十勝の作付割合が増える結果となっています。

大手亡については、殆どが十勝で作付されています、昨年の減少分（▲310ha）まで面積は回復していない状況です。

金時の作付についても、殆どが十勝であり、3年続けての色流れの影響もありながら、高相場により面積は微増となっています。

黒大豆は国産の消費が鈍く、在庫過多の状況となり、相場も大幅に下がったことで全道で▲1,082ha、十勝でも▲450haの減少となっています。

豆類の全道での作付面積（普通大豆を除く）は、36,400haで昨年比▲708haとなっておりますが、普通大豆を含めると昨年と面積は変わっていません。十勝では豆類面積（普通大豆を除く）は、23,750haで前年比+485ha、普通大豆を含めると昨年比+1,000haと言う結果になっています。

(2) 平成26年産道産豆需給見込み

品目別生産量から次期繰り越しの推算（単収は予想単収）

品 目	H26面積 (ha)	予想単収 (俵/10a)	生 産 量 (俵)	商品化量 (俵)	前期繰越 (俵)	年間消費量 (俵)	次期繰越 (俵)	在庫増加率 (次期繰越÷ 前期繰越)
小 豆 類	26,400	4.0	1,056,000	1,003,200	700,300	937,500	766,000	109%
大 納 言	2,686	3.4	92,400	87,800	51,100	82,600	56,300	110%
大 手 亡	2,200	3.9	86,000	81,700	54,200	89,700	46,200	85%
赤系金時	5,500	2.9	161,700	153,600	93,100	167,900	78,800	85%
光黒大豆	2,300	3.8	86,700	82,400	117,200	96,600	103,000	88%
計	36,400		1,390,400	1,320,900	964,800	1,291,700	994,000	

※予想単収は平年作、年間消費量はH25年産の見込み

※大納言は、小豆類の内数

- 【小 豆】 小豆は、ここ数年の不安定な供給量を背景に価格が上がり、年間消費量は減少傾向にありましたが、H25年産で十勝を中心に作付面積が大幅に増えたことと、平年作であったことから価格も低下し、消費量は回復してきており、本年も作付面積が増加し、安定供給が可能な状況となっています。但し、見込繰越在庫は70万俵から76万俵まで増加すると予想されており、相場動向が注視されています。
- 【大 納 言】 小豆の作付が大幅に増えたこともあり、大納言の需給状況は一変しておりますが、今年の作付面積は横ばいで、次期繰越見込みについては、H25、H26年産ともに5万俵を超える見込みとなっており、供給過剰な状況となっています。
- 【大 手 亡】 H25年産の次期繰越5万俵については、副産物が多く含まれており、作付面積がさほど回復していない現状では2等、2格の供給はH23年と同様、非常に難しくなる状況となることが予想されます。
- 【赤系金時】 金時は、作付面積がわずかに回復しています、豊作基調であっても繰越在庫は減少する見込みです。但し、最近の価格の高騰により、煮豆業界は縮小傾向にあることから、年間消費が落ち込んでいるのが現状です。繰越在庫には副産物の在庫が多いと推察され、依然として2格品の供給量は少ない状況にあります。
- 【黒 大 豆】 次期繰り越し見込みについては、H25年産で12万俵、面積が大幅に減少したH26年産でも10万俵と、年間消費量を上回る繰越在庫が予想されており、依然として供給過剰な状況となっています。

(3) 今後の情勢

- 【小 豆】 販売状況については、H25年産で価格が低下したこともあり、末端メーカーの手当、販売が進み年間消費量も増加する見込みとなっていますが、本年も更に作付面積が増加したこともあり、反収次第では2年分の供給量が確保される可能性もある状況となっています。輸入小豆の消費層を取り込むには、価格競争に陥ることが十分に考えられます。再生産価格を確保するために、国産を大切にしてくれるユーザーとの結びつきを更に強め、結びつきを強めるために、安定供給を続ける必要があるように思います。
- 【大 納 言】 H25年産の販売も苦慮している状況にあり、供給過剰状態となっています。本年の作柄次第では、高級和菓子用途から、製餡を中心に需要の掘り起こしを図ることも言われており、作付抑制や価格の面でも厳しさが増す可能性が高い状況となっています。
- 【大 手 亡】 販売面については、輸入インゲンの高騰を受け、23年産の副産物の販売が伸長していますが、2等、2格の供給量が依然として少なく、安定供給の体制を早く作ることが強く求められています。国産を大切にしてくれているユーザーから、強く作付を希望されている品種です。
- 【赤系金時】 作付増を期待されている赤系金時ですが、相場の高騰もあるものの面積は微増となっています。供給不足状況が長く続いていることから、消費量の回復はわずかで難しい環境にある状況です。更に相場高騰と供給不安から、一部甘納豆、煮豆業界では金時製品の縮小に繋がっている状況にもあります。少しでも早く安定供給のできる体制が望まれています。
- 【黒 大 豆】 黒大豆については、H23年産の供給不足の影響から、輸入品へ切り替えた実需が多く、未だに回復の目途がたっていない状況にあり、繰越見込みは年間消費量を上回った状態が続いています。但し、価格の大幅な値下げもあり、一部消費は回復の兆しがでており、引き続き道産への再切換を進める必要がありますが、もうしばらく時間がかかる状況にあります。

尚、JAでは、需給動向を含む市況、生産状況を十分調査し、買取して参りますので、農協へ全量在庫頂きますようお願い致します。

ユリ根部会

平成26年度 全道食用ゆり 生産者大会に参加 ～全道の生産者、全国の市場 関係者が美瑛町に集結～

現地圃場を視察する、窪田部会長、福田副部会長



北海道連合百合根振興会主催による全道食用ゆり生産者大会並びに消流懇談会が、8月21日、22日に美瑛町を会場に開催され、当JAユリ根生産部会からも窪田満穂部会長、福田秀利副部会長夫妻が出席致しました。食用ゆりは北海道の作物では唯一全道段階で振興会が組織されており、その歴史は古く今年で結成55年を迎えました。本大会は食用ゆりの生産、流通に携わる関係者が全道、全国から集まり、毎年8月に開催されています。

食用ゆりの状況は近年全道的に作付面積が減少し続けていますが、十勝の規模は維持、微増しているため、全道では倶知安に次ぐ2番目に大きな産地となっています。販売単価も4年連続で上昇していて、長年の目標とされていた1,000円/kgの販売単価も目前に迫っています。目標達成に向けてより一層の品質の高位平準化に一丸となって取り組むことが確認されました。また、良好な販売環境の後押しにより、新規生産者を増やしている産地もあるとのことでした。

今回の大会には全道10地区の生産組織、全国39の取扱市場からの参加があり、作付動向や生育状況、販売環境について意見交換が行われました。長年の歴史により積み重ねられた産地間の団結力と消費地との繋がりの実感した生産者大会となりました。

(記事・農産部農産課 岡本富之)

年金友の会

第35回 パークゴルフ大会を開催

年金友の会第35回パークゴルフ大会が、8月28日清見パークゴルフ場において開催されました。42名の会員の方が参加され、好天の下での開催となりました。90歳を超える方も2名参加され、親睦を深めながらプレーを楽しんでおられました。成績は次の通りです。



入賞者の皆さん

	優勝	準優勝	3位
【男性の部】	石川 剛さん	横田 保則さん	神谷 隆之さん
【女性の部】	丹羽 久子さん	神谷 トキ子さん	中島 宣子さん

(記事・営農部営農課 高山信雄)

奥尻島・鍋釣岩の前で集合写真



年金友の会

親睦研修旅行 を実施

年金友の会では7月14日から16日まで親睦研修旅行を開催いたしました。

初日は、朝7時に池田町を出発し奥尻島をめざしました。沖縄、九州、中部地方に甚大な被害をもたらした台風8号の接近等があり、

海の状態が心配されましたが、波も穏やかで快適な船旅となりました。その夜はカラオケ、ビンゴゲームを楽しみながら奥尻島の海の幸を満喫いたしました。2日目は、今から21年前の7月に発生した南西沖地震により、奥尻島は津波の襲来を受け甚大な被害を受けましたが、その当時の様子を後世に残している「奥尻津波記念館」を視察しました。津波の恐ろしさを改めて感じさせられた機会となりました。

視察後、丸1日滞在した奥尻島を離れ、2日目の宿泊先となる洞爺湖温泉を目指しました。途中、今は穏やかになっている有珠山を車窓から眺めながらの移動となりましたが、津波と併せて、改めて自然災害の恐ろしさを感じる一時となりました。その夜は洞爺湖花火大会を満喫し、温泉に入りながら親睦を深めておられました。

最終日は、壮瞥町でサクランボ狩りを楽しみ池田町に帰町いたしました。旅行中は参加者の皆様の願いが通じ好天に恵まれ、また、事故の発生もなく、楽しく思い出の多い旅行となりました。参加された皆様大変お疲れ様でした。

(記事・営農部営農課 高山信雄)

食品加工サークル

視察研修を実施

食品加工サークルでは、7月23日(土)に視察研修を会員16名の参加で行い、帯広市清川町の「十勝とやま農場」と農家レストラン「ふわふわ畑」を視察しました。

十勝とやま農場では、農場で採れた豆やジャガイモはもちろん、ポン菓子などの加工販売も行っており、当日は農場3代目の外山聖子さんから旦那さんが10年前に急死してからの変化や、4代目の聖子さんの息子・隆祥さんが就農するまでのお話をいただきました。

昼食は、農家レストラン「ふわふわ畑」で楽しいお喋りと、美味しいランチを食べ解散となりました。

当日参加された、会員の皆さんお疲れ様でした。

(記事・営農部営農課 遠藤由梨)



十勝とやま農場での研修

金融共済課より

農業者年金に みんなで加入しましょう

奥様や後継者も
ぜひ加入を !!

しっかり積み立て
がっちりサポート
安心で豊かな老後を

農業従事者なら誰でも加入できます。

60歳未満の国民年金の第一号被保険者であって年間60日以上農業に従事するものであれば誰でも加入できます。

* 農業法人の構成員でも上記条件を満たせば加入できます。

積立方式で安心した財政運営です。

積立方式で年金額は加入者・受給者数に左右されない、少子高齢時代に強い制度です。

* 積立金は運用され利息等も加算されますが、もしも65歳の年金裁定時に積立金運用益累計がマイナスの場合は、マイナス分が補填されます。

保険料は自由に選択できます。

月額2万円から6万7千円までご自身のライフプランに合わせて保険料を自由に選択できます。

* 国庫助成を受けながら保険料増額はできません。

税制面でも大きな優遇があります。

保険料は最大80万4千円の社会保険控除（収めた保険料の15から30%程度の節税）。

支払われる年金にも公的年金控除が適応されます。

80歳までの保証がついた終身年金です。

年金は終身受給できます。加入者や受給者が80歳になる前に亡くなった場合は、80歳までに受け取ると仮定した金額を死亡一時金として遺族が受け取れます。

保険料の手厚い国庫助成があります。

認定農業者等一定の要件を備えた意欲ある担い手に対して、保険料（月額2万円）の2割、3割又は、5割の政策支援（保険料の国庫助成）があります。

★ 国民年金だけでは老後の生活が大変だと言われています。

一人ひとりが農業者年金に加入して、安心な老後を築きましょう ★

詳しい内容を知りたい、家族協定の事を聞きたい。

農業委員会(TEL572-3126)にお問い合わせください。

加入手続きは、

JA 十勝池田町で取り扱っています。



発行：池田町農業者年金協議会
(池田町農業委員会内)

農業の担い手には、 手厚い政策支援(保険料の国庫補助)が あります

保険料補助は次の3つの要件を満たす方が受けられます

- ① 60歳までに保険料納付期間が20年以上見込まれること。
* 旧制度加入者(脱退一時金又は特例脱退一時金を受給した者は除く)は、旧制度の保険料納付済期間等も合算できます。
- ② 必要経費などを控除した後の農業所得が900万円以下であること。

③ 次の区分の1～5のいずれかに該当する人

区分	必要な要件	国庫補助額	
		35歳未満	35歳以上
1	認定農業者で青色申告者	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
2	認定就農者で青色申告者	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
3	区分1または2の者と家族経営協定を締結し経営に参画している配偶者又は後継者 * 家族経営協定については、農業委員会にご相談ください。 協定内容について何点かご家族で決めていただき、その内容を協定書にします。 手続は簡単ですので、お気軽にご相談願います。	10,000円 (5割)	6,000円 (3割)
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす者で、3年以内に両方を満たすことを約束した者	6,000円 (3割)	4,000円 (2割)
5	35歳まで(25歳未満の場合は10年以内)に区分1の者となることを約束した後継者	6,000円 (3割)	

* 保険料の国庫補助を受ける期間の保険料は2万円で固定され、加入者が負担する保険料は2万円から国庫補助額を差し引いた金額となります。

最長20年間、保険料補助が受けられます

保険料の補助が受けられる期間は、

- ① 35歳未満であれば要件を満たしているすべての期間
② 35歳以上であれば10年以内
通算して最長20年間(補助額は最高216万円)です。



発行：池田町農業者年金協議会

国庫補助額も自分の年金として受け取れます

国庫補助額とその運用益は、個人ごとに積み立てられ、原則65歳から特例付加年金として受給できます。

特例付加年金を受給するには、農地等の経営継承が必要ですが、経営継承の時期についての年齢制限はありません。

自分で積み立てた分は、65歳から農業者老齢年金として受給することができますので、65歳から農業者老齢年金を受給しながら農業を続け、本人の体力などに応じて特例付加年金の受給時期を決めることができます。

営農部通信

営農部
営農課

▶ 人間ドック後期取りまとめについて

9月1日付けでFAX及び郵送にてご案内しておりますが、再度広報にてご案内致します。
健康管理と病気の早期発見のため1年に一度は必ず受診されるようお願い致します。

1. 受診対象者 正組合員または同居の家族

2. 受診料金 31,320円

3. 助成金額 下記表の通り

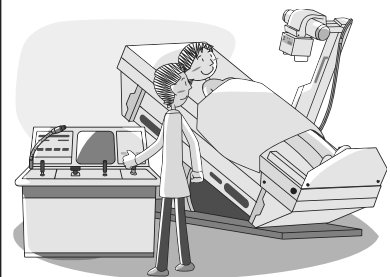
	農協助成	池田町助成	個人負担額
40歳未満	11,000円	なし	20,320円
40歳以上	11,000円	8,164円～※1	12,156円
75歳以上	11,000円	9,164円～※2	11,156円

※1：今年度40～74歳になる方（国保加入者のみ、特定健診の扱い）

※2：健診当日75歳以上の方（後期高齢者健診の扱い）

4. 実施日

男 性 (45名)		女 性 (30名)	
11月13日(木)	5名	11月12日(水)	5名
11月17日(月)	2名	11月14日(金)	5名
11月18日(火)	3名	12月10日(水)	5名
11月20日(木)	5名	12月12日(金)	5名
11月25日(火)	5名	12月17日(水)	5名
11月27日(木)	5名	1月9日(金)	5名
12月4日(木)	5名		
12月8日(月)	5名		
1月5日(月)	5名		
1月6日(火)	5名		



5. 取りまとめ期日 平成26年10月6日(月)

※希望日については申込順です。

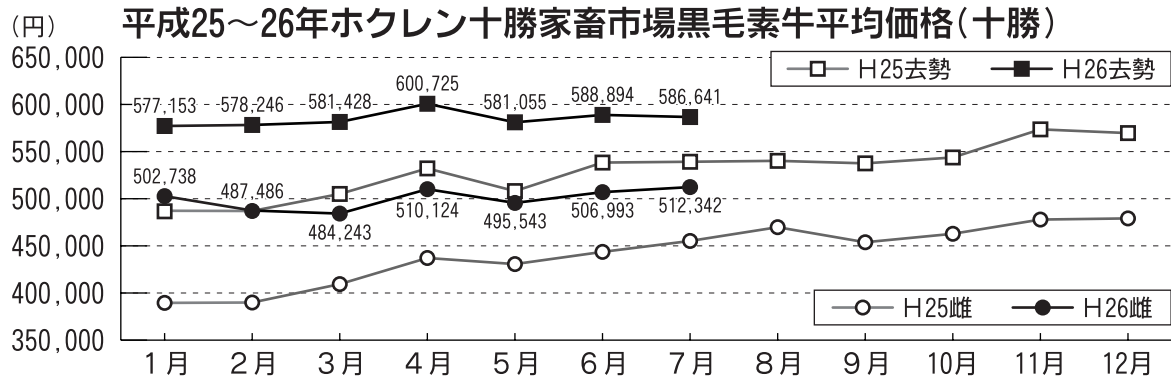
予定数が埋まった場合は別の実施日に農協で振り分けます。

6. 申込先 JA十勝池田町 営農課までFAX及び郵送にて送付している申込書にてお申し込みください。

TEL 572-3131 FAX 572-3519

畜産部通信

畜産部
畜産課



7月黒毛素牛出荷区分別成績

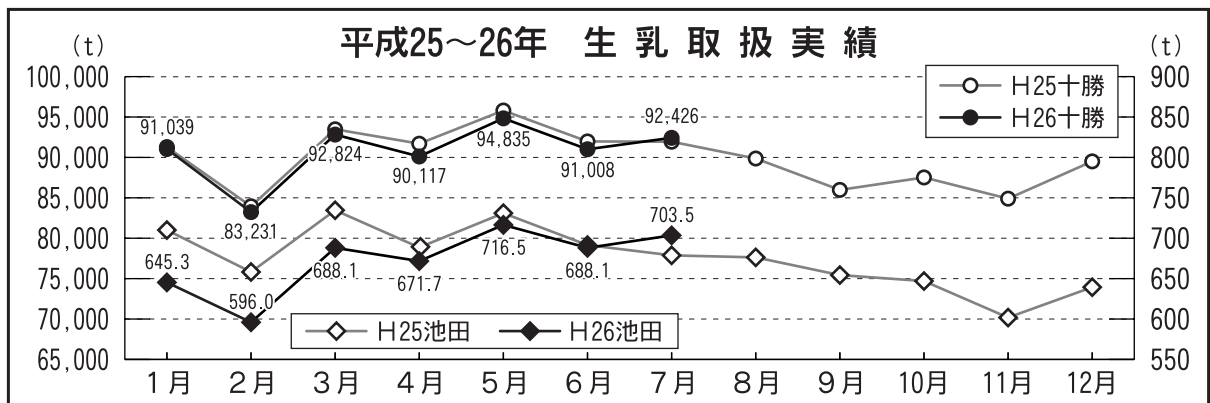
【金額(円)】

		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	636	586,641	
	マニュアル参加牛	391	590,934	61.5
	マニュアル認定牛	61	643,467	9.6
	池田			
	和牛素牛	51	598,680	
	マニュアル参加牛	41	596,687	80.4
雌	和牛素牛	489	512,342	
	マニュアル参加牛	305	512,055	62.4
	マニュアル認定牛	19	557,792	3.9
	池田			
	和牛素牛	26	530,197	
	マニュアル参加牛	20	525,204	76.9
	マニュアル認定牛	1	585,360	3.8

7月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
5日 19日	黒毛去勢	A-5	1,824
		A-4	1,735
		A-3	1,567
	黒毛メス	A-5	1,911
		A-4	1,707
		A-3	1,529
	F1去勢	B-3	1,090
		B-2	946
	F1メス	B-3	1,062
		B-2	941



7月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
2日	乳牛育成	317	277,672
8日	乳牛初妊	704	552,690
	乳牛経産	87	367,659

7月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	29,681
F1オス初生	174,015
F1メス初生	108,712
廃用牛	177,942

各部署職員紹介



農産部 農産課

5月1日の人事異動で、新人の上野駿職員が配属となり、7名体制となりました。

圃場などで組合員の皆様と接する機会が多い部署です。明るく元気に対応することを心がけ、組合員皆様のお役に立てるよう、精一杯努力致します。よろしくお願い申し上げます。

三村太志 職員 鈴木耕一郎 職員 岡本富之 職員 上野 駿 職員
新沼二郎 課長 永田健次 部長 菅原ゆかり 職員

畜産部 畜産課

5月1日の人事異動により、新体制となり、平均年齢がさらに下がり若い畜産部に生まれ変わりました。

元気と明るさはもちろん、積極的に現場に出て組合員皆様と接していきますので、宜しくお願いします。



米川 武 職員 長谷川彰大 職員
豊原英梨 職員 古川勇一 部長 梶木和也 課長

今月は、農産部・畜産部・購買部（生活課・生産資材課）を紹介します。



購買部 生活課

いつもAコープ利別店をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

Aコープ利別店では、生鮮三品、もぎたてなどを中心に国内産の食材を組合員、地域の皆様に提供してまいります。スタッフ一同お待ちしておりますので、今後とも更なるご利用をお願い申し上げます。

小野寺絵里 職員
内海正明 職員

高 雄紀 職員
藤山春雄 部長

藤本幸子 職員
緑川貞美 職員

購買部 生産資材課

いつも生産資材課をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

課長が変わり、新体制となりましたが、今まで以上に組合員の皆様に信頼され、お役に立てる資材店舗を目指してまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



今井敬貴 職員
斎藤喜一 職員

福田明江 職員
遠藤泰志 課長

多田賢一 職員
鈴木則宏 職員



千代田南地区

なかむらとしお 中村俊夫さん
(32歳)

Vol.3

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は俊夫さん、妻・裕子さん、父・國臣さん、母・寿美子さんの4人家族で畑作を営む。

池田高校を卒業と同時に就農。今年で就農14年目。

昨年度、当JA青年部の会計を務め、今年度から副部長を務める。

馬が好きだった。と話してくれたのは、青年部の副部長を務める中村俊夫さん。就農当時は「ばんえい馬」を飼っており、馬の世話をよくしていたそう。高校卒業後、農業系の大学に進学せず就農したのは、父・國臣さんが大きく関係しているという。「うちの父は中卒でも、立派に農家をやってきました。父が就農する前に『大学に行っても良いぞ』と言ってくれましたが、大学に行かなくても父の様に、頑張れば農家が出来ると思い進学はしませんでした」と、俊夫さんにとって國臣さんは農業人としての見本だったそう。

今は、馬を飼っていた時よりも畑が増えた事と、機械作業を1人でこなしている為、草取り等は両親や妻・裕子さんが行うそう。「両親が手伝ってくれる事は、ありがたい」と感謝している。

趣味では、体力作りの為にロードバイクを3年ほど前から始めて、雨で畑作業が出来ない時などを見計らって走っているそう。「上士幌町のナイトハイ高原は景色も良くて、ロードバイクには御馳走の坂道があるので良いです!」と、楽しそうに話してくれた。

また、青年部活動では婚活(女性交流会)を担当しており、今年札幌で開催する予定の交流会では、「必ず成功させたい!」と意気込み、副部長としては「山内部長の補佐はもちろん、若い青年部員が参加しやすい楽しい活動をしていきたい」と話す。

今年の2月に結婚したばかりの俊夫さん。「ますます仕事を頑張る様になつたし、身が引き締まる」と話し、結婚が更なる仕事への活力となっている。

また、新規作物も考えながら営農していき、「まずは『小豆の名人』と言われるぐらいの収量を目指したい」と、これからの目標を語ってくれた。



農家の お嫁さん

3

少しでも家族の役に
立てるよう頑張りたい



利別地区

うめ だ し ほ
梅 田 紫 穂 さん
(40歳)

家族
構
成

夫	和 男 さん	(42歳)
長女	佳 妙 ちゃん	(18歳)
次女	依 伽 ちゃん	(16歳)
三女	華 帆 ちゃん	(11歳)
義父	隆 さん	(86歳)
義母	洋 子 さん	(76歳)

Q 出身地は？

A 帯広市です。

Q 池田町に来てどう思いましたか？

A 住んでいた帯広にも近く、別の町に
来たという印象は、あまり無かったです。

Q 趣味・特技・マイブームは？

A マイブームは、アンティークの家具
や小物を集める事です！

Q 旦那さんとの出逢いは？

A 1枚の写真がきっかけです。

Q 結婚する前は何をしていましたか？

A 短大を卒業後、1年ほど会社で事務
をしていました。Q 農家のお嫁さんになる事に不安はあ
りましたか？A お義父さん・お義母さん、旦那さん
も優しくだったので、特に不安はありま
せませんでした。

Q 農家に嫁いで良かった事は？

A 家族と一緒に仕事ができる事です。

Q フレッシュミズに入ってみて、どん
な所が良いですか？A 同じ立場の人達と交流が出来る事で
す。

Q これからの抱負を一言！

A 周りの人達と情報交換しながら、少
しでも家族の役に立てるよう頑張りたい
です！

理事会の動き

第 6 回

〈平成26年8月21日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の加入について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 小麦の受入状況について
- (4) 農産物の生育状況について
- (5) 平成26年産買取豆類の取扱について
- (6) 固定資産の売却について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員資格変動並びに出資金持分減口承認願いについて
- (2) コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
- (3) 秋季地区懇談会の開催について

★ 協 議 案 ★

- (1) 特定組合員の経営協議状況について



今月の1枚



盛り上がった「腕ずもう大会」!!

今月の1枚は、8月23日(土)にワイン城横の農村公園で開催された、「組合員交流会」で盛り上がった「腕ずもう大会」の様子です。

詳細は来月号で紹介いたします。

いよいよ収穫作業本番ですね! 運転していると、収穫作業を行っている方を良く見かけるようになりました。休憩も入れながら事故にはくれぐれも気をつけて、農作業を行ってくださいね。

また、8月23日(土)に行われた「組合員交流会」では、たくさんの方のご参加・ご協力を頂き、ありがとうございました!

異常気象による災害や野菜高騰などの影響が出ていますが、これからの農作業に嬉しい天気が続くように祈るばかりです。

(E)

